

◆耐薬品性

ポリカーボネート材は、オイル・有機溶剤・農薬等の薬品に対して影響を受けやすく、白化・クラック・割れを起こす事がありますので十分注意して下さい。

◆PCの耐薬品性

(現象)

クラック・クレージングを起こすもの（物性劣化を生じさせるもの） 白化・黄変等変色するもの

(該当する薬品類)

- ガソリン、各種シンナー類、四塩化炭素、メチルエチルケトン、アセトン、キシレン、ベンゼン、ジオキサン、酢酸メチル、酢酸エチル、トリクロロエチレン、二硫化炭素、クレゾール、テレピン油 等
- クロロホルム、ホルマリン 等
- アンモニア、苛性ソーダ、苛性カリ、石灰 等
- 硝酸、過酸化水素、塩素、メチレンクロライド、エチレンクロライド、トルエン 等

短所

1. 有機溶剤・界面活性剤に弱い

有機溶剤または、界面活性剤のほとんどがポリカーボネートに対し、強い応力腐食性を示します。

たとえば

**ポリカーボネートでできた素材に、
アルカリ性を示す洗剤や、シリコンオフ 及び ガラスコーティング材などをかけて放置してしまうと、
ひび割れ、変形などを起すことがあります。**

ハードコート of 膜厚と耐候性

自動車用クリア塗装20～30ミクロンに対し、ヘッドライト用ハードコートは5～10ミクロン。

自動車用クリア塗装の硬度H～2Hに対し、ヘッドライト用ハードコートは3H～4H。

新品又は劣化の少ないヘッドライトであれば耐薬品性の脆弱さによる顕著な劣化は見られないとは思いますが少なからず影響することは否定できません。

**新品であってもヘッドライトにカラーフィルム プロテクションフィルム等を貼り付けると、
場合によっては粘着剤に使用されるアルカリ性溶剤が起因となり激しいクラックが発生することがあります。**
たくさんの異なる材質が使用された車の洗車に常用するシャンプーも中性のものを使うことが大切です。